

「課題研究（古代米栽培）」年間指導計画

月	目 標	学習内容	生徒の主な学習活動	教師の支援・方法
4	課題の設定ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定 ・栽培の計画 	<p>課題研究の意義、学習方法、課題設定上の注意点を理解し、個に応じたテーマを決める。</p> <p>グループの他のメンバーと相談しながら課題を設定する</p> <p>一年間のイネ栽培の流れを理解する</p>	<p>自分で課題を見つけ活動計画を立てながら追求していく学習であることを理解させる</p> <p>過去の課題研究テーマを生徒に提示し、生徒に選択の幅を持たせるよう配慮する</p> <p>生徒による課題解決が困難であることが考えられる場合は、課題を変更するなど助言する</p> <p>1年次の作物で行ったイネの学習を思い出させる。</p>
5	課題にもとづいて調査研究ができる。	・たねまき	<p>古代米を栽培していく上で必要な器材を考える</p> <p>古代米（赤米と黒米）の種籾を塩水選し、育苗箱に種をまく。</p>	<p>栽培計画等を参考にすると良いことを助言する。</p> <p>塩水選の比重を間違えないよう注意する。</p>
6		・植え付け	<p>プランタに古代米の苗を植える。</p>	<p>植える本数、深さについて、1年次の田植え実習を思い出させる。</p>
7		・生育調査	<p>課題解決のための情報収集や調査活動についての方法を知る</p> <p>書籍、インターネット等の活用、観察、創意工夫した調査器具の作成など様々な活動を通して課題追求をする。</p>	<p>課題解決に対する適切な情報収集法や調査方法について助言しわかりやすく学習のまとめができるよう支援する</p>

8		・雑草調査	各グループの活動計画で課題追求をする 活動を続けていく上での問題点について解決方法を知る。	生徒の活動状況を把握考えさせたり、解決の方法を示唆して判断させるなど助言する 必要に応じて活動計画の見直しをさせる
9		・病害虫及び鳥害対策	鳥害（スズメ）対策として防鳥網、糸を張る。	ただ網や糸を張るのではなく、どういう張り方をすれば効果的か考えさせる。
10		・収穫・調査	古代米の収穫をする。	米の収穫適期等、もう一度教科書で確認させる。
11		・イネ副産物の利用	稲わら、米ぬか、もみ殻の利用法を考え、作品製作等を実施する 稲わらを使ってリース作りをする。 稲から始まるイメージマップの作成。	米栽培と社会との結びつきについて生徒に考えさせる わらないやリース作りのポイントについて適切な助言をする。 イメージマップとはどういうものか理解しにくいと考え、ダイズを例に取り、イメージマップの概要を説明する。
12	課題のまとめができる	・課題研究のまとめ	生育調査票等を活用し、今まで行ってきた活動内容をまとめる。	情報を分析し、その結果をグラフなど使いわかりやすくまとめるよう援助する
12	課題研究発表ができる	・課題研究発表	課題研究発表会において学習の成果やまとめ、さらには今後の課題について発表する。	自分たちの発表だけでなく、他班の発表の仕方、方法等を見るように働きかける